



“キャッチ”  
自走式 **ピレットトラック**

**Antyac**  
アンティエース

ACP-13J/16J/18J/20J

## 取扱説明書



よくお読みになってご使用ください。  
管理者・オペレーター及び整備担当者は、この取扱説明書を必ず読んで内容を理解してから、運転・点検・整備をしてください。  
取扱説明書は、この機械にたずさわる全ての管理者・オペレーター及び整備担当者の参考のため収納場所を決め、保管して定期的に読めるようにしてください。

■購入年月日

---

■車体型式

---

■車体番号

---

■管理者

---

※ご購入後すみやかにご記入ください。



株式会社

**をくだ屋技研**

# はじめに

この度は、自走式キャッチパレットトラック「アンティエース」を購入して頂き有難うございます。

この取扱説明書には、安全にお使い頂く為の正しい操作方法と、より長くご使用頂く為のお手入れ方法を説明してあります。ご使用前に必ずよく読み、よく理解した上で、正しくご使用ください。取扱説明書をいつでも使用出来るよう大切に保管してください。取扱説明書や警告ラベルを紛失された場合は、購入店にてお求めください。

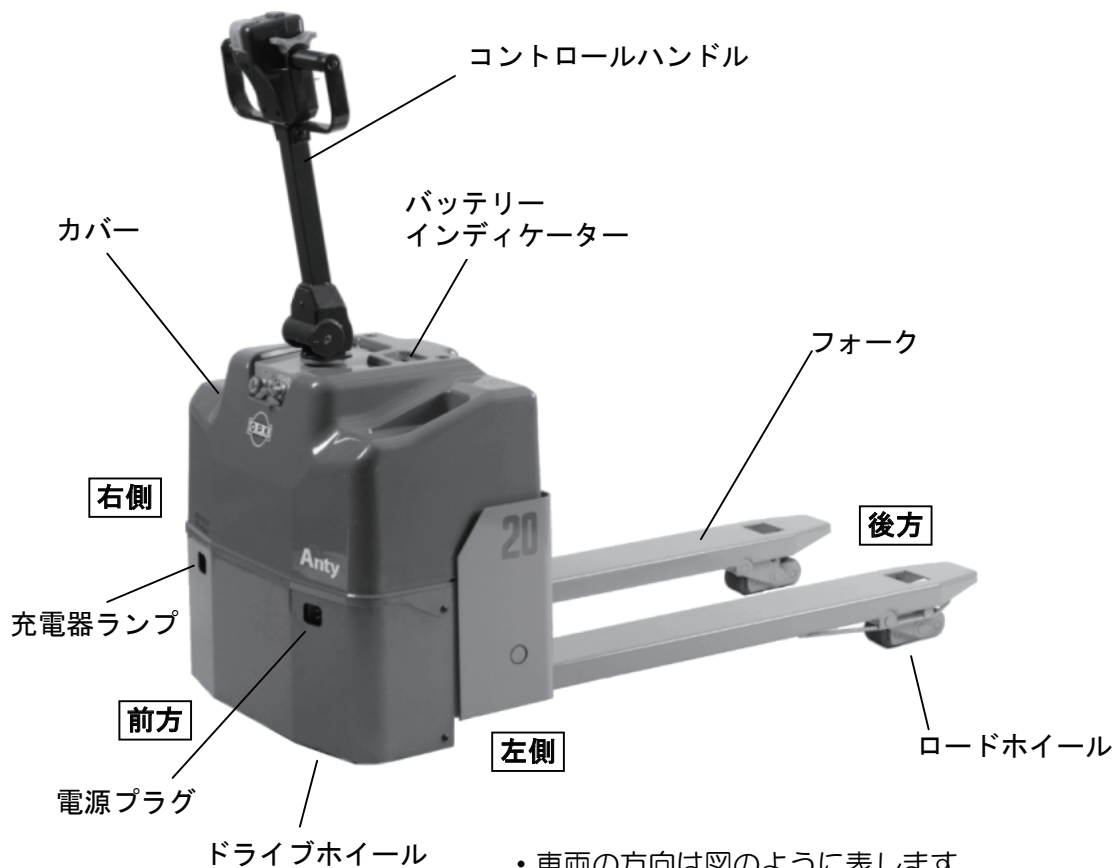
- 管理者・オペレーター及び整備担当者は、ご使用前には必ず本書をお読みいただき、正しい製品の使い方及び点検方法をよく理解いただき、安全でかつ能率のよい作業にお役たててください。
- 品質、性能向上または安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際は、本書の内容またはイラストなどの一部が、製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- 製品を貸与または譲渡される場合はこの取扱説明書を製品に添付してください。



は、安全上特に重要な箇所です。必ずお守りください。

	<b>危険</b>	死傷につながる恐れの高い事故を未然に防ぐために、必ず守っていただきたい事項を示してあります。
	<b>警告</b>	死傷につながる恐れの高い事故を未然に防ぐために、必ず守っていただきたい事項を示してあります。
	<b>注意</b>	負傷または、車両やまわりの物への損傷を未然に防ぐために必ず守っていただきたい事項を示してあります。
		事故・故障を起こさず、車両を長くお使いいただくために知っておいていただきたい事項を示してあります。

# 各部の名称



・車両の方向は図のように表します。

## ■仕様

型式	最大積載質量 (kg)	最低位 (mm)	最高位 (mm)	フォーク(mm)			全長 (mm)	全巾 (mm)	最高速度 (km/h)		ドライブホイール φX幅 (mm)	ロードホイール φX幅 (mm)	シールドバッテリー	充電器	質量 (kg)
				長さ	外幅	内幅			無負荷	負荷					
ACP-13J	1,300	80	200	1,070	620	320	1,525	710	0~5.0	0~4.6	ウレタン 230×70	ウレタン 80×73	DC12V 50AH/ 5HR×2	搭載型 定電流 定電圧方式 コードリール付	285
ACP-16J	1,600	80	200	1,070	620	320	1,525	710	0~5.0	0~4.6	ウレタン 230×70	ウレタン 80×73			295
ACP-18J	1,800	80	200	1,070	620	320	1,525	710	0~5.0	0~4.4	ウレタン 230×70	ウレタン 70X56W車			300
ACP-20J	2,000	80	200	1,070	620	320	1,525	710	0~5.0	0~4.4	ウレタン 230×70	ウレタン 70X56W車			310

※Economyモードの場合、最高速度は、約半分になります。

# 車両に関して

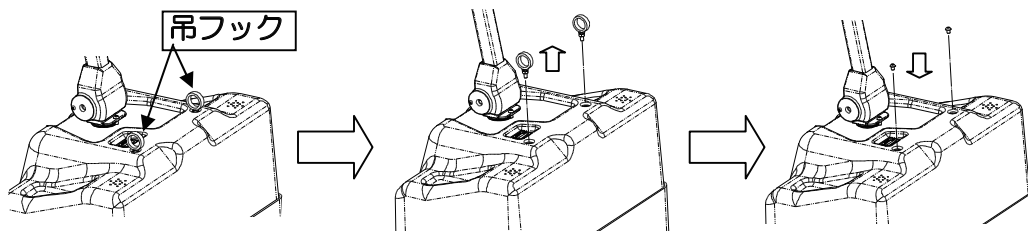
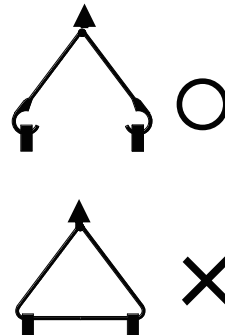
## ●ご使用前に

納入時は、車体を吊上げる為の吊フックが取り付けられています。ご使用前に必ず、下図のように吊フックを外して、付属の六角穴付ボタンプルト（M8×10L）を締め付けてください。

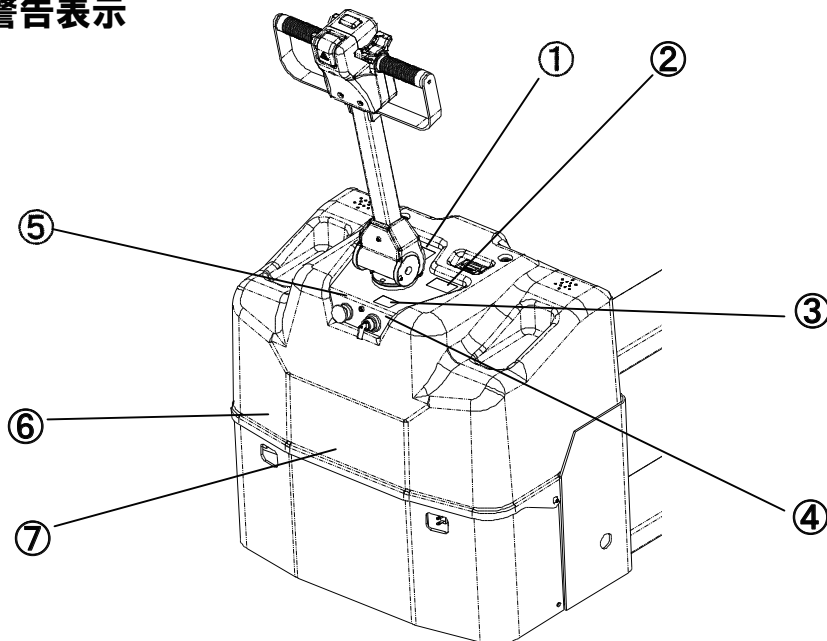


## ●車両を吊あげる場合

吊フック使用時は、必ず右図のように2点吊りをしてください。2ヶのフックともにワイヤー等を通して吊り上げないでください。



## ●警告表示



・汚損した警告ラベルは新しいものと交換してください。

①

## ⚠ 注意

1. 取り扱い説明書を十分理解し内容を守って運転してください。
2. 平坦で且つ堅固な舗装路面で使用してください。
3. 常に安全の確保と周りの安全を確認してから運転操作を行ってください。
4. キースイッチを入れる前にアクセルが中立になっていることを必ず確認してください。コントロールハンドルを倒したままキースイッチを入れると安全のため走行しません。
5. 必ずコントロールハンドルを倒してからアクセルを操作してください。アクセル操作して、コントロールハンドルを倒すと安全の為、走行できません。
6. 急発進、急停止、急旋回は危険ですのでしないでください。
7. 路面の悪い場所では、作業しないでください。
8. 坂道での急斜面にそっての横向き走行又は、急旋回は危険ですのでしないでください。
9. 走行時は車体と安全な距離をとってください。
10. 乗車型でない車両には、乗らないでください。
11. 屋外に放置することは絶対におやめください。
12. 車体から離れる時は、必ずスイッチを切り、キーを抜いてください。

②

自走式キャッチ  
パレットトラック **Antyac**

TYPE

MAX.CAP. kg

MFG.NO.

 OKUDAYA GIKEN CO.,LTD.  
OSAKA JAPAN

③

### ⚠ 注意

**充電時の注意**

- ・充電する時は必ずキースイッチをcharge側にしてください。
- (火気により爆発する危険性があります。)
- ・火気のない換気の良い場所で充電してください。
- ・充電中は入力電源プラグを抜かないでください。
- ・入力電源プラグ接続中に機器内部に触れないでください。






④



⑤



⑥

 緑・黄消灯 電源OFF	 緑・黄点灯 5秒間 スタンバイ	 緑点滅・黄点灯 充電中	 緑・黄点灯 充電完了
 緑・黄点滅 Error	※Error表示の場合電源プラグをコンセントから抜きキースイッチをCharge側にし、電源プラグをコンセントに差し込んでください。		

⑦

### ⚠ 注意



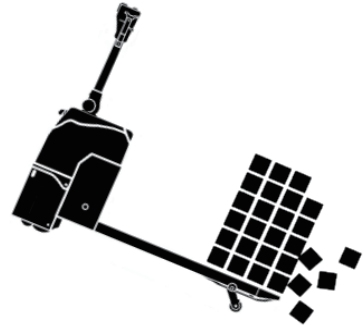
露出端子に触れると  
感電する恐れがあります。

## ⚠ 安全上の注意



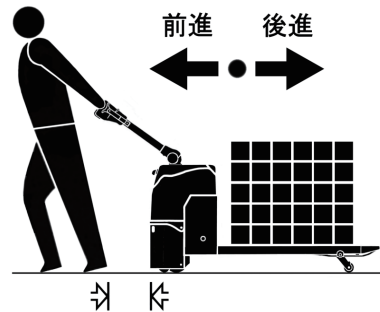
### 過積載、集中荷重、偏荷重の禁止。

- フォーク全体に均等になるように能力の範囲内の貨物を積載してください。
- 片側のフォークにだけ貨物を積載すると横転や荷崩れの原因となります。



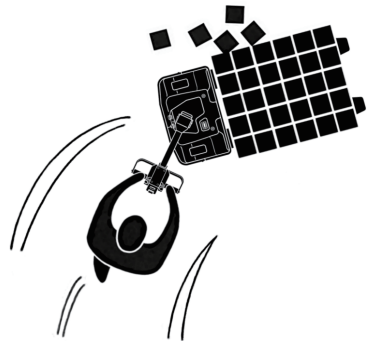
### 周囲の安全を確認して走行してください。

- 発進の前に車体の周囲に物や人がいないことと進行方向の安全を確認してください。
- 貨物を運搬する時は、前進にて走行してください。
- 車体との距離を保って走行してください。



### 急発進、急ブレーキ、急旋回の禁止。

- 乱暴な運転は荷崩れや横転の原因となります。
- 走行中にコントロールハンドルを直立させると、駐車ブレーキが働き車両が急停車して危険です。



### 平坦な舗装路面で使用してください。

- 傾斜、凸凹、段差のある路面では使用しないでください。
- 軟弱地へは乗り入れないでください。
- 濡れた路面など滑りやすい場所では、十分に速度を落として走行してください。

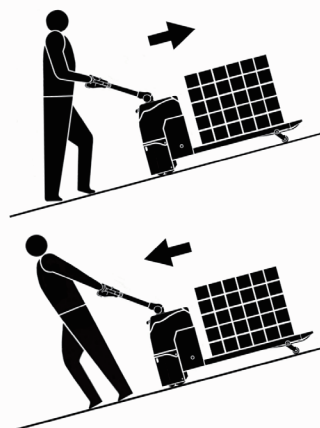


## ⚠ 安全上の注意



### 坂道での走行は特に注意してください。

- 貨物積載時上り坂は後進、下り坂は前進にてゆっくり走行してください。
- 斜面を横切ったり、斜面での旋回、荷役作業はしないでください。横転の危険があります。
- 斜面での駐停車は禁止。



### フォークや貨物の上は搭乗禁止。

- フォークや貨物の上に人を乗せてはいけません。



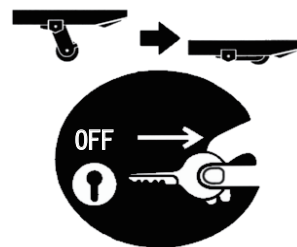
### フォークの下は危険です。

- フォークや貨物の下に手や足を入れてはいけません。
- フォークの昇降時は、周囲の安全を確認してください。



### 車両から離れる時はキーをOFFにしてください。

- 車両から離れる時はフォークを最低位置まで下げて、キーをOFFにして抜いてください。



### 屋外での使用は避けてください。

- 高温、多湿、氷点下での使用は故障の原因となります。




# 操作部の名称と取扱い

## ●キースイッチ



OFF : 電源を切ります。  
キーを抜き差しできる位置です。

ON : 制御回路に通電します。  
※一定時間、操作をしないとスタンバイモードになります。

 : 充電位置です。

## ●非常停止スイッチ



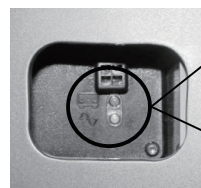
- ・非常時にスイッチを押すことにより、制御回路への通電を遮断し、車両が停止します。
- ・解除するには、スイッチを矢印の方向へまわしてください。スイッチが飛び出し、通電可能になります。

## ●コンディションランプ

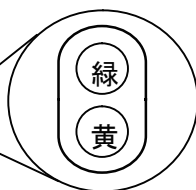


- ・制御回路の異常を点滅によりお知らせします。
- ・キースイッチ「ON」で一瞬点灯し、その後消灯します。

## ●充電器ランプ



- ・充電器の状態を2色のLEDの点灯・点滅・消灯によりお知らせします。




## ●電源プラグ



- ・充電用電源プラグです。AC100V（長さ約2m）



キースイッチを「」に切換えてから、コンセントへ差し込んでください。



# 操作部の名称と取扱い

## ● バッテリーインディケーター



- バッテリーの容量を表示します。



2個の赤い表示が交互に点滅をはじめたら、速やかに作業を中止して充電をしてください。

## ● 昇降スイッチ



- フォーク昇降用スイッチです。UP側(上)へ倒すとフォークが上昇し、DN側(下)へ倒すと下降します。
- 昇降スイッチを放すとスイッチは中立になりフォークはその位置で止まります。

## ● 走行モード切換スイッチ



POWER : 長距離をスピーディーに移動するのに適しています。

ECONOMY : モーターの駆動電流を落として稼働時間を延長します。より細やかで正確な作業をするのに適しています。

## ● アクセル



- レバーを進行方向へゆっくりと回します。矢印方向に前進(▼)、後進(▲)します。



アクセルの操作量により走行速度を調整可能です。

## ● セーフティスイッチ



- 前進中に車両が運転者に接近しすぎ危険を感じた場合、セーフティスイッチを押す事で、走行方向を後進に変えることができます。



前進走行中のみ作動します。セーフティスイッチが解除されるか、約3秒間後進すると停止します。

## ● ホーンスイッチ



- ホーンスイッチを押すとホーンが鳴ります。

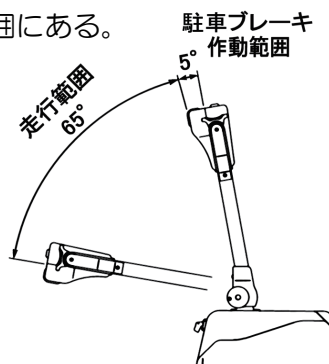
# 操作方法



キースイッチをONにする前に次の項目を確認してください。

- 非常停止スイッチが解除されている。
- コントロールハンドルが駐車ブレーキ作動範囲にある。
- アクセルが中立になっている。

非常停止スイッチ      コンディションランプ      キースイッチ



コントロールハンドルが走行範囲または、アクセルを操作中にキースイッチをONにしても動作しません。

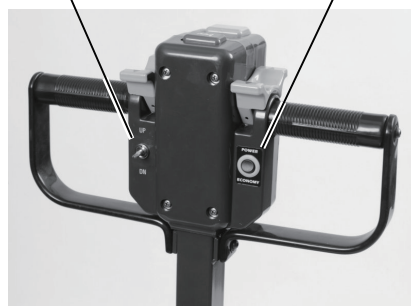


一定時間、操作をしないとスタンバイモードになります。スタンバイモード時に昇降操作を行なうと動作が少し遅れますが、故障ではありません。

## ●フォークの昇降操作

- ①キースイッチをONにしてください。
- ②昇降スイッチを操作します。  
UP側(上)へ倒すとフォークが上昇し、  
DN側(下)へ倒すと下降します。
- ③昇降スイッチを放すとスイッチは中立になりフォークはその位置で止まります。

昇降スイッチ      走行モード切換スイッチ



※急降下防止バルブ付です。

## ●走行モード切換スイッチ

- ①走行モードを二段階に設定することができます。

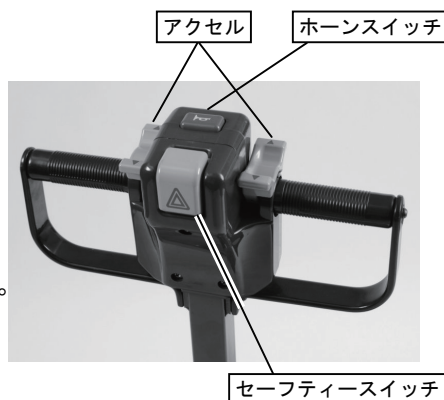
POWER      : 長距離をスピーディーに移動するのに適しています。

ECONOMY : モーターの駆動電流を落として稼働時間を延長します。  
より細やかで正確な作業をするのに適しています。

# 操作方法

## ●走行/停車操作

- ①キースイッチをONにしてください。
- ②コントロールハンドルを走行範囲に倒すと、駐車ブレーキを解除し走行可能となります。
- ③アクセルを進行方向へゆっくりと回します。矢印方向に前進(▼)、後進(▲)します。
- ④アクセルの操作量により走行速度を調整してください。
- ⑤アクセルを中立にすると車両は回生制動によりスムーズに停車します。停車後コントロールハンドルを立てると駐車ブレーキが作動します。
- ⑥ホーンスイッチを押すとホーンが鳴ります。
- ⑦車両から離れる時は、必ずコントロールハンドルを立てた状態で、キースイッチをOFFにして抜いてください。



コントロールハンドルを走行範囲へ倒す前に、アクセルを操作すると走行しません。



車両が停車していない状態で反対方向にアクセルを操作しないでください。荷崩れや故障の原因になります。



走行中にコントロールハンドルを駐車ブレーキ作動範囲へ立てると、駐車ブレーキが作動し車両が急停車して危険です。

## ●セーフティスイッチ操作

- ①前進中に車両が運転者に接近しすぎ危険を感じた場合、セーフティスイッチを押す事で走行方向を後進に変えることができます。



前進走行中のみ作動します。セーフティスイッチが解除されるか、約3秒間後進すると停止します。

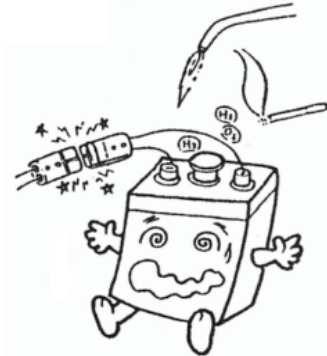
# ⚠ バッテリー取扱い上の注意



## 火気厳禁

・バッテリーからは水素ガスが発生する場合があります。ショートしたり、火気を近づけると引火爆発の原因となります。特に充電中や充電直後30分以内は注意してください。

・充電場所は、雨のかからない、風通しのよい、火気のない場所を選んでください。



・シールドバッテリーを使用していますので補水は不要です。

・取扱い・管理はバッテリーの寿命・性能に大きな影響を与えます。常に最良の状態に保つように心がけてください。

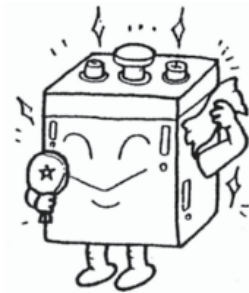


## バッテリーは常に清潔に保ってください。

・清掃は充電前に行なってください。

・湿った布でよく拭き清潔にします。

・乾いた布で清掃したり、はたきがけ又はビニールシートを被せると静電気が発生し、引火爆発の原因となります。



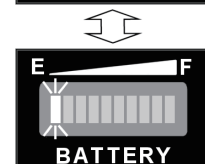
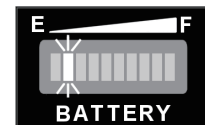
## 過充電に注意をしてください。

・機械をあまり使用せずに充電操作を連続して繰り返すと過充電となり、バッテリーより水素ガスの放出、漏液、発熱、爆発、寿命を縮める原因となります。



## 過放電はしないでください。

・バッテリーインディケータが点滅を開始したら、すみやかに作業を止めて充電をしてください。機械が動かなくなるまで使用しますと、充電不能などバッテリー故障の原因となります。



## バッテリー交換上の注意



バッテリーの交換手順を守ってください。

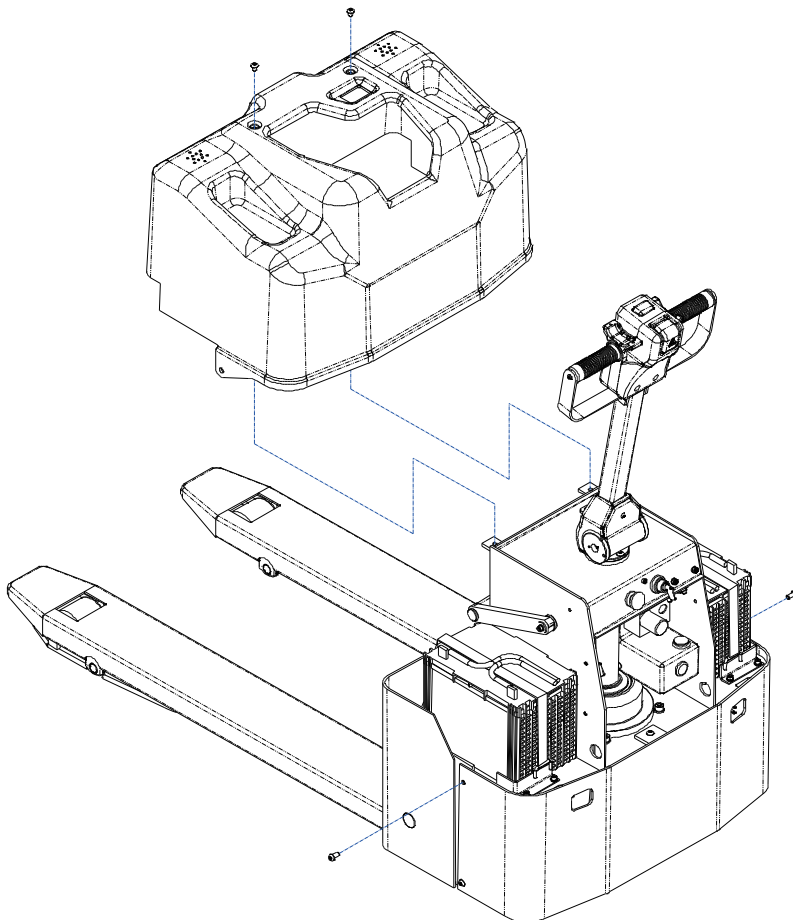


必ず2個一緒に同等の仕様、容量 (Ah) のものと交換してください。

HOPPECKE製 12TB50 2ケ


- ① 4本のボルトを緩めてカバーを取り外してください。
- ② 取り外しはバッテリーの (-) 側のターミナルから端子の絶縁キャップの色に従って、黒→白→赤→赤の順に行なってください。
- ③ 取り付けはバッテリーの (+) 側のターミナルから外した時とは逆の手順で、赤→赤→白→黒の順に行なってください。

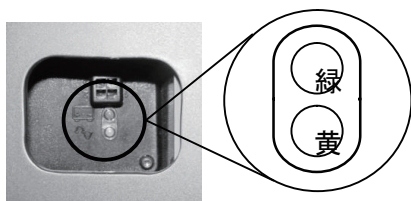
● **カバーの取り外し** 付属の六角レンチでボルトを外してください。



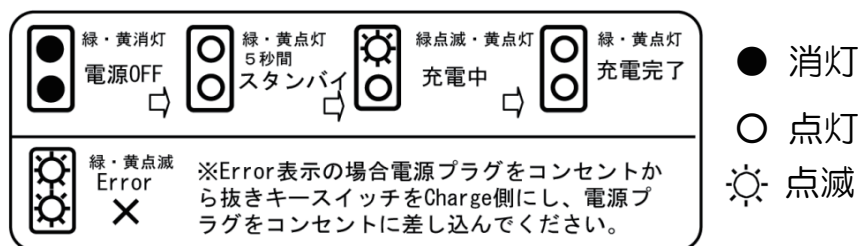
# 充電方法

一日の作業終了後に充電してください。

- ①フォークを最低位置にして、キースイッチを「」の位置にします。
- ②電源プラグを引き出し、電源コンセント（AC100V）に接続します。
- ③充電器のランプを確認します。



電源投入→スタンバイ(約5秒)→充電中→充電完了の順に点灯します。



- ④充電を終了/中断する時は、電源プラグをコンセントより抜いて、本体に収納してください。
- ⑤キースイッチを「OFF」の位置にして、キーを抜いてください。



## 過充電に注意をしてください。

- ・バッテリーインディケータの表示が半分以上の状態でも充電をしないでください。  
繰り返す行くとバッテリーの寿命を極端に縮める原因となります。



## 長期間使用しない時は補充電をしてください。

- ・機械を使用していない時にもバッテリーは自己放電します。  
月に一度は補充電を行なってください。



## 充電器には自己診断機能を内蔵しています。

- ・詳しくはP.20のトラブルシューティングを参照してください。

# メンテナンスについて

本機を長い間ご使用していただくためにも、毎日の始業点検と定期的なお手入れが必要です。  
始業点検および月例定期点検の実施方法を中心に記載しています。  
快適安全作業のため、日程を決め点検整備を行なってください。



## メンテナンス作業上の注意

- 火気厳禁です。換気の良い場所で行なってください。
- 平坦でしっかりした路面で行なってください。
- フォークを最低位置まで下げ、コントロールハンドルを立てて駐車ブレーキを掛けてください。
- 必要時以外はキースイッチをOFFにしてください。  
また、カバー内部点検時はバッテリーコードを外してください。
- 水洗いはしないでください。特に電気部品に水がかかると故障の原因となります。
- 油脂類をこぼした場合は、速やかに拭き取ってください。

## ● 始業点検

作業の安全と車両の性能を維持する為、その日の作業を開始する前に次の点検を必ず行ってください。

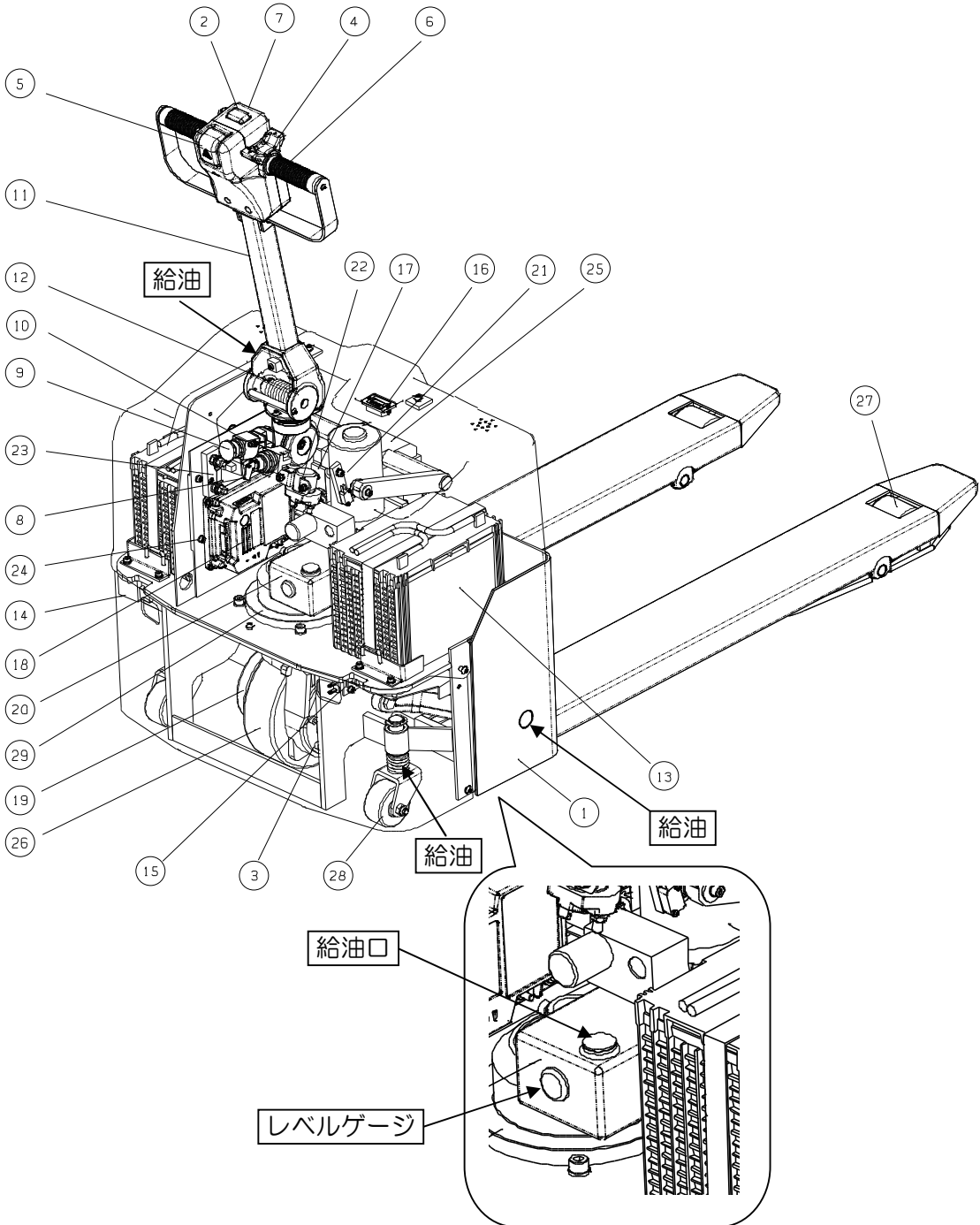
	点検項目	点検内容
制動装置	ブレーキの作動点検	ブレーキの効きは充分か
	走行スイッチの点検	作動は正常か
操縦装置	ハンドルの遊び点検	緩み、ガタはないか
荷役 & 油圧装置	各部の作動点検	各部の作動は正常か、損傷はないか
	配管部の点検	油漏れはないか
	作動油の点検	油は規定量入っているか
車輪	車輪の点検	異常摩耗、損傷はないか
	取付ボルト、ピンの点検	ボルトが緩んだり外れていないか
バッテリー	充電の確認	バッテリーの容量は充分か ターミナル配線が緩んだり傷んだりしていないか
その他	ホーンの点検	ホーンは鳴るか
	点検項目以外	異常箇所はないか



# メンテナンスについて

## ●月例点検

始業点検項目以外に下記項目を点検してください。  
又点検の結果を記録し保存してください。



# メンテナンスについて

## ●点検項目

下記の点検項目をご確認ください。

No.	点検項目及び内容	点検
1	車体	フォーク等の歪・亀裂・異音
2	ホーン	鳴り確認
3	駐車ブレーキ	作動確認
4	アクセル	作動確認
5	セーフティスイッチ	作動確認
6	昇降スイッチ	作動確認
7	走行モード切替スイッチ	作動確認
8	キースイッチ	作動確認
9	非常停止スイッチ	作動確認
10	コンデションランプ	作動確認
11	コントロールハンドル	作動確認・旋回時の遊び
12	ディラーマイクロスイッチ	作動確認
13	バッテリー	汚れ・外観の異状 ターミナルの緩み・損傷
14	充電器	作動状態
15	充電プラグ・コード	傷み・破損
16	バッテリーインディケータ	点灯確認
17	コンタクタ	接点の荒れ・作動
18	ACインバーター	作動確認
19	駆動ユニット	油漏れ・異音・亀裂・作動
20	油圧ユニット	油漏れ・油量・異音・亀裂・作動 高圧ホースの油漏れ・亀裂・変形
21	上昇マイクロスイッチ	作動確認
22	油圧モーター用コンタクタ	作動確認
23	ヒューズ	ターミナルの緩み・容量
24	各配線端子	緩み・損傷
25	油圧シリンダー	油漏れ
26	ドライブホイール	傷・磨耗
27	ロードホイール	傷・磨耗
28	キャスターホイール	傷・磨耗
29	旋回ベアリング	給油・ガタ
	各取付けボルト・ナット	緩み・損傷
	各部グリスの給脂及び給油	P 1 6 参照



駆動ユニットはメンテナンスフリーです。給油の必要はありません。  
※但し、ドライブホイールは消耗品。

# メンテナンスについて

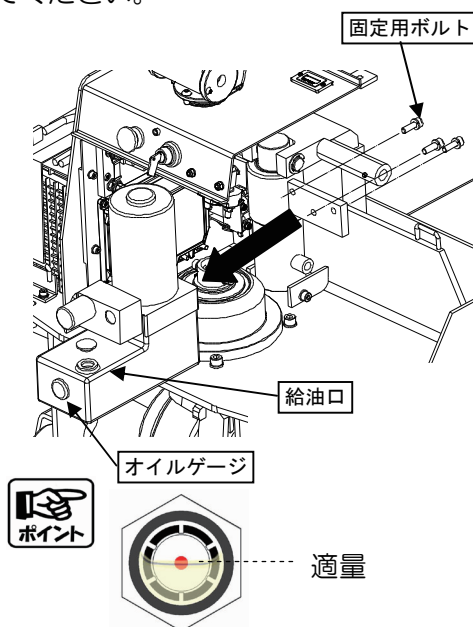


**カバーを取り外しての作業時は、感電・ショートに注意してください。**

- ・フォークを最低位置にして、キースイッチをOFFにしてください。
- ・4本のボルトを緩めてカバーを取り外してください。
- ・バッテリー交換手順にしたがってバッテリーコードをバッテリーターミナルより、取り外してください。

## ●油圧作動油の交換

- ①油圧ユニットのオイル交換は年1回。
- ②高圧ホース、モーターの配線、個定用ボルト3本を取り外し、油圧ユニットを手前に引き出します。
- ③給油口よりオイルを排出します。
- ④油圧ユニットを車体に取り付け、給油口よりオイルを適量給油します。(油量は約0.6リッターです。)
- ⑤交換、補給には次表のオイルまたは同等品を使用してください。



出光石油	ダフニスーパーハイドロ WR32
日石三菱	ハイランドワイド 32
シェル石油	テラスオイル T32
コスモ石油	コスモハイドロ HV32

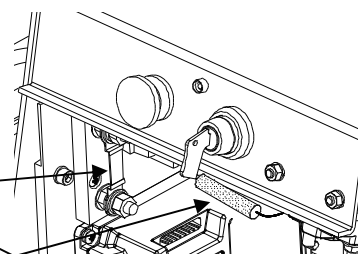


**ブレーキオイルの使用は厳禁です。**

## ●ヒューズの交換(予備ヒューズ付)

- ①ヒューズが切れている場合、同一定格のものと交換してください。


F 1	7.5A板ヒューズ
F 2	10Aガラス管ヒューズ



**必ずバッテリーコードを取り外して作業してください。**

# トラブルシューティング

次のようなトラブルが生じた場合、チェックポイントにしたがって点検をしてください。

状 況	チェックポイント	処 置
走行 できない	 バッテリーの容量はありますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バッテリーインディケータの確認。</li> <li>• バッテリーの容量がない場合は、充電をしてください。</li> <li>• 充電が出来ない場合は、別表【充電の診断】を確認してください。</li> <li>• 配線の確認。</li> </ul>
	キースイッチON時、コンタクタの”カチッ”という音がしていますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 非常停止スイッチがONになっていないか確認してください。</li> <li>• ヒューズF1・F2の状態を確認。</li> <li>• インバーター部、12ピンのコネクタを確認してください。</li> </ul>
	コンディションランプが点滅していますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 別表コンディションランプ点滅パターン参照。</li> </ul>
速度が でない	減速機部センサーコネクタの接続状態はどうですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 減速機部4ピンコネクタの接続、配線の確認をしてください。</li> </ul>
上昇 しない	バッテリーの容量はありますか。	※上記の場合と同様。
	昇降スイッチの故障。 コントロールハンドル配線異常	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 昇降スイッチの交換。</li> <li>• 配線の点検。</li> </ul>
	油圧ユニットのオイル量。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• オイルゲージの確認。</li> <li>• オイルの給油。</li> </ul>
	油圧ユニットモーターの作動状況。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 油圧モーター用コンタクタの作動状態確認。</li> </ul>
充電しない	充電器ランプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 別表【充電の診断】を確認してください。</li> </ul>

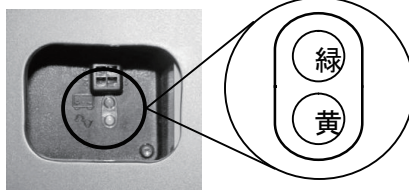
上記以外のトラブル、または上記の処置をしても直らない場合は、購入販売店へご連絡してください。


# トラブルシューティング

## ●充電の診断

充電器の診断結果は、イエローとグリーンLEDの点灯・点滅・消灯により表示されます。トラブルを未然に防止する為に「おかしいな？」と思ったら下表をご覧ください。

充電器ランプ



点滅パターン	内容	対処法
ランプがつかない。	電源が入っていません。	電源コードをコンセントに差し込んでください。
	電源コードが断線している可能性があります。	電源コードの確認及び交換をしてください。
イエロー点滅×1	定電圧セットポイントに到達しません。	バッテリーを交換してください。
イエロー点滅×2	2時間以内に24Vに到達しません。	バッテリーを交換してください。
イエロー点滅×3	バッテリーが破損しているか、古くなっています。	バッテリーを交換してください。
	AC電源を抜き差ししても動作が再開しない場合は、充電器が故障している恐れがあります。	充電器を交換してください。
イエロー点滅×4	充電電圧が設定値を超えています。	バッテリーを交換してください。
イエロー点滅×5	充電器が加熱しています。	電源を外してください。10分経過後、再び電源を入れてください。
イエローとグリーン同時点滅	バッテリーが充電器に接続されていません。	キースイッチを「  」にしてください。
	バッテリーの接続が逆です。	配線を確認してください。
	バッテリーが過放電しています。	バッテリーを交換してください。

# トラブルシューティング

## ●コンディショランプ点滅パターン

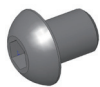
走行系のトラブルは、コンディショランプの点滅パターンにより表示されます。  
 トラブルを未然に防止する為に「おかしいな？」と思ったら下表をご覧ください。

## コンディショランプ



点滅パターン	内 容	対 処 法
点滅×1	バッテリー電圧の低下	充電をしてください。
点滅×2	始動手順間違い	始動手順を再確認してください。
	コントロールハンドル内部異常	コントロールハンドルを倒した時ティラーマイクロスイッチの作動音がしない場合は、ティラーマイクロスイッチを確認してください。 アクセル部のマイクロスイッチを確認してください。 コントロールハンドル内部の配線を確認してください。
点滅×3	走行モーター駆動回路及びACインバーター内部の異常	走行モーターへの配線を確認してください。 配線に異常がない場合ACインバーターを交換してください。 上記で問題が解決できない場合は駆動ユニット部を交換してください。
点滅×4	アクセル部の異常	コントロールハンドルアクセル部の配線及び状態を確認してください。
点滅×5	ACインバーター内の電流センサーの異常	ACインバーターを交換してください。
点滅×6	メインコンタクタ異常	メインコンタクタを確認してください。
	ACインバーター部配線異常	ACインバーター部の20ピンコネクターの配線を確認してください。
点滅×7	インバーターの温度異常	冷却して改善されない場合はインバーターを交換してください。
	インバーター内部温度センサー異常	インバーターを交換してください。
	走行モーターの温度異常	冷却して改善されない場合はモーターの温度センサーの配線を確認してください。
	ブレーキ部の配線異常	駆動ユニット部4ピンコネクターの配線を確認してください。

## 付属部品



六角穴付ボタンボルト (M8×10L) 2ケ



六角レンチ 1ケ



予備：F1 75A板ヒューズ 1ケ



予備：F2 10Aガラス管ヒューズ 1ケ

---

## MEMO